



地域学校協働 Letter

「地域学校協働活動」って何？

この活動の最も大切なコンセプトは、「学校を含めたコミュニティ全体を、一つの大きな学びのキャンパスとして捉える」というものです。つまり、学校の教室だけが学びの場ではなく、私たちが暮らす街全体が、子どもたちのための巨大な「教室」や「教科書」になるという考え方で、この生きたキャンパスの中で、子どもたちは多様な体験を通じて、自分自身の力で考え、答えを見つけながら成長していきます。

小学校・中学校での具体的な活動内容

○環境整備

子どもたちと一緒に、地域の方々が花壇の手入れをしたり、図書室の本を整理したりします。学校をより美しく、使いやすい場所にするための共同作業です。

○安全指導

地域のボランティアの方々が通学路に立ち、子どもたちが安全に登下校できるよう見守ります。「おはよう」「気をつけてね」といった日々の声かけが、子どもたちの安心につながります。

○学習サポート

地域の歴史や文化、裁縫、習字等に詳しい地域の方が「ゲストティーチャー」として学校を訪れ、学級担任のサポートを行います。お互いの交流の場として貴重な機会です。

○地域行事に関わる活動

地域のお祭りやイベントの準備・運営に、子どもたちがスタッフとして参加します。地域の一員としての自覚や責任感を育むことにつながります。

その他・・・町探検の協力、職場体験活動の補助、進路指導における面接練習補助など



古河第一小学校 お茶給食：お茶を通じた郷土理解

古河第一小学校では、地域学校協働活動の一環として、地元の「塚田製茶店」さんをお招きし、給食の時間に緑茶を味わう体験会を行いました。古河市は古くから茶の栽培や文化が根付いたまちであり、本校も長年、地域の方々に支えられながらその歴史を共にしてきました。

当日は、急須を使い、プロの手で丁寧にいれられたお茶が振る舞われました。その豊かな香りと深い味わいに、児童からは「おいしい！」と歓声が上がり、多くの子がおかわりをするほどの大盛況となりました。本物の味に触れることで、自分たちの育つ郷土への理解と愛着を深める貴重なひとときとなりました。



お茶の歴史について



急須からのお茶



丁寧にいれられたお茶



お茶のおかわりの様子